

津商モール大にぎわい

津山商業高生
仕入れから販売
格安商品ずらり

津山商業高校の生徒
が行う「津商モール」が
22日、津山総合体育館
の家族連れらが買い物



(山北)であり、大勢
を築んだ。
商業の勉強の総まとめとして知識やマナー、サービスを考える力を養おうと、この時期に開いており6回目。全校生徒が参加し、美作地域の企業、商店の協力を得て生鮮食品や日用雑貨、花、家電、車など多彩な商品を販売する模擬商店街を体育館や周辺に開いた。

格安の商品がずらり。生徒たちは「いかがですか」「安いですよ」などと、元気いっぱい来場者に呼びかけていた。

今回初めて実施した「小学生お仕事体験」は、市内の4、5、6年92人が参加。高校生が設けたハローワークで仕

津山商高生の販売実践

事を探し、職場別面接の後、19のブースに分かれ販売の手伝いのほか、警察官、消防士などの仕事も体験した。終わると、給与の受け取り、納税も行った。呼び込みを担当した田口早希子さん(鶴山小6年)は「声を出し

て呼びかけるのは少し恥ずかしかったけれど、給与がもらえたり、いろいろ学べて楽しかった」とにっこり。そのほか「お金の大切さを学ぼう教室」、姉妹都市縁組50周年を記念した早白鳥の商売、同校や全国の高校生が

開発した菓子などの販売も好評だった。中原千代枝さん(71)「鳥取県岩美町」は「生き生きと接客する高校生の笑顔がすばらしい。コロッケなど食べ物たくさん買いました」と話していた。